

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年12月11日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年12月11日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【H4タンクエリアA3タンク水位計指示値のハンチング※発生について】 当直員がH4タンクエリアA3タンクの水位指示値がハンチングしていることを確認。 A3タンクの現場確認を行い漏えいがないこと、および隣接するA2タンクと連結しA2タンク水位に変動がないことを確認。 当該水位計を確認した結果、故障を示すエラー履歴が確認されなかったこと、水位計電源を再投入したところ、一時的に正常値に復帰するものの、再度、ハンチングが発生することを確認したことから、当該水位計の故障と判断。 今後、当該水位計を交換予定。</p> <p>※ハンチング: 指示値が不安定に振れる状態</p>	GⅢ	12月8日
2	<p>【1号機滞留水移送装置(残水)用空気圧縮機室空調機(A)のファンベルトの破断について】 冷凍機フロム調査において、当社社員が1号機タービン建屋2階に設置している滞留水移送装置(残水)用空気圧縮機室の空調機(A)の駆動用ファンベルトが破断していることを確認。 空調機を停止し、室内温度上昇防止のため、空気圧縮機室の扉を開放。 今後、原因調査ならびにファンベルトを交換予定。</p>	GⅢ	12月8日
3	<p>【1号機滞留水移送装置(残水)用空気圧縮機室空調機(B)のファンベルトの破損について】 冷凍機フロム調査において、当社社員が1号機タービン建屋2階に設置している滞留水移送装置(残水)用空気圧縮機室の空調機(B)の駆動用ファンベルトが破損し、プーリーから脱落していることを確認。 空調機を停止し、室内温度上昇防止のため、空気圧縮機室の扉を開放。 今後、原因調査ならびにファンベルトを交換予定。</p>	GⅢ	12月8日